

議案第 1 号

平成 27 年度飛島公共交通バス自己評価について

平成27年度飛島公共交通バス自己評価について、別紙のとおり報告する。

平成28年 3 月30日

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
会 長 久 野 時 男

飛島村地域公共交通
活性化再生法定協議会

平成19年6月1日設置 (地域公共交通会議)

協議会が目指す方向性 (Plan)

< 飛島村における公共交通に関する課題 >

- 飛島村には、鉄軌道がない。H21年以前は村内を通過する民間路線バスも飛島村による欠損金補助により維持してきたが路線廃止の懸念があり、また、ルートの形状から一部の沿線住民しか利用できない交通空白地問題を抱えていた。
- 総合病院や大型商業施設はなく、通勤通学先も村外という状況から、住民ニーズは最寄りの中心市「名古屋市」等に移動できる公共交通サービスの向上が求められた。

< 総合計画における公共交通の位置づけ (H25～H34) >

- 飛島バスの運行方法等の改善により利便性を高め、住民や勤労者の移動手段として恒久的な維持存続を目指す。

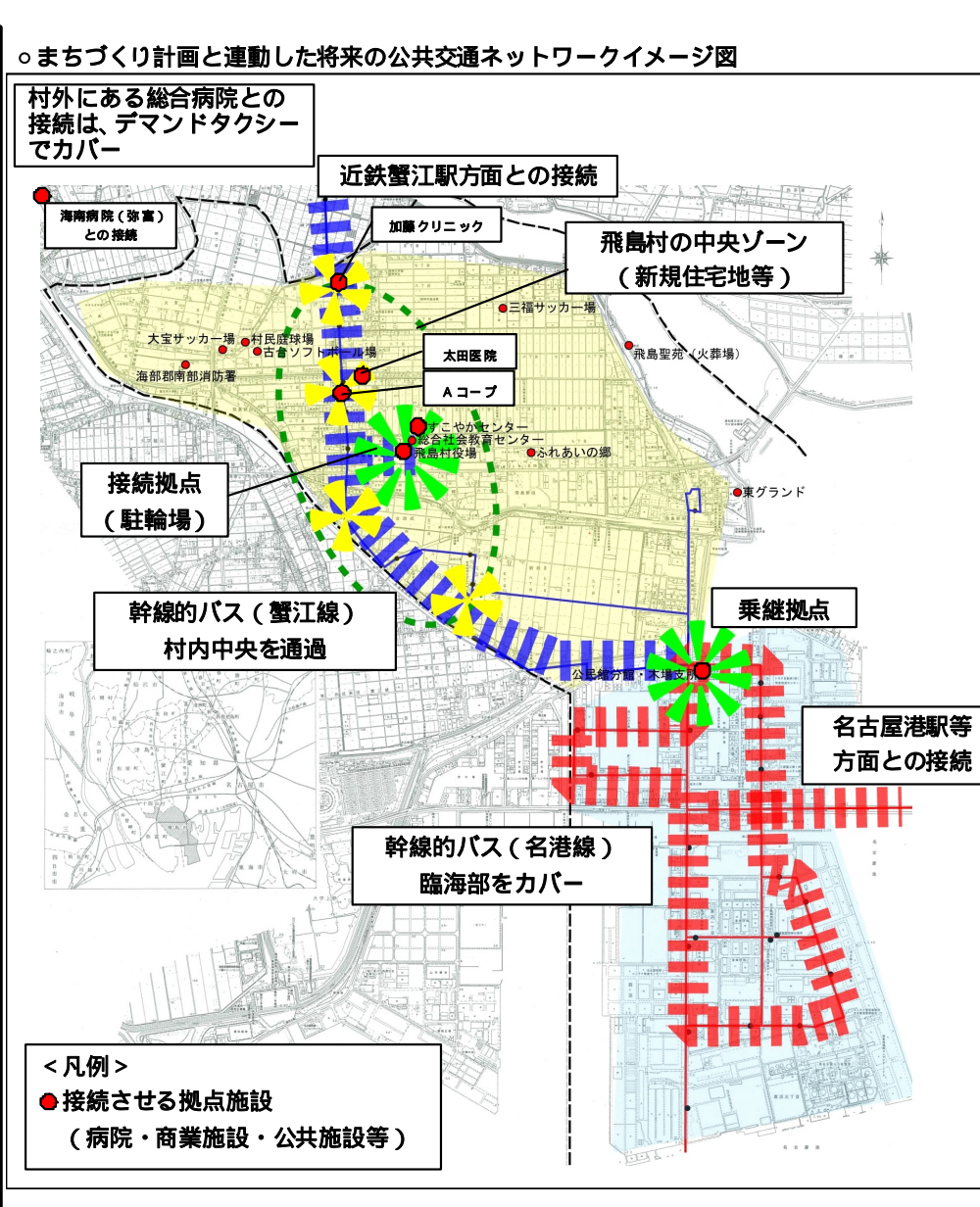
< 課題解決に向けた対応→連携計画策定 (H21～H26) とコミュニティバス等の運行 >

- 課題解消を図るため、活性化再生法に基づきH20/12に「飛島村地域公共交通総合連携計画」を策定、H21年度より実証運行を開始。
- 鉄道駅と接続する幹線系統の「蟹江線・名港線」、地域内をカバーする地域内フィーダー系統の「コミュニティバス」を運行させる。
- 総合病院への移動手段として事前予約制区域運行の「海南病院通院支援タクシー」も運行させる。
- コミュニティバスの利用者数が低迷。補助金利用もあり、大幅な見直しが必要とされる。

< 平成27年4月 地域公共交通網形成計画を策定 >

～ 連携計画から交通網形成計画への変更点～

- 将来的な公共交通ネットワークイメージを構築 (右図)
- 住民ニーズ等を反映し、法定協議会での合意を得て、コミュニティバスを廃止。
- 近鉄蟹江駅への移動環境強化として「蟹江線の増便」+主要バス停での駐輪場整備を行う。
- 蟹江線・名港線・海南病院通院支援タクシーの運行は継続。



地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

○これまでの取組

- 平成19年6月に飛島村地域公共交通会議を設置、平成20年12月に「地域公共交通総合連携計画」を策定。
- 三重交通(株)により運行されていた路線バス「蟹江線(赤字欠損金を補填)」を幹線系として位置づけ、交通空白部分をコミバスでカバーする計画を策定、平成21年4月よりコミバス試行運行を開始。
- 弥富市の総合病院までの公共交通確保に対する住民ニーズを反映し、当該計画で位置づけていた「海南病院通院支援タクシー(事前予約制乗合タクシー)」の試行運行を平成21年10月より開始。
- 定期的に協議会を開催、事業見直しを行うと共に、平成23年の地域公共交通確保維持改善事業への転換を契機に、「蟹江線」を幹線系統、コミバスをフィーダー系統とする「生活交通NW計画」を策定。
- 平成25年度から、バス検討委員会を設置し、地域公共交通総合連携計画の見直しに係る検討を開始。
- 平成27年3月末にて、飛島コミュニティバスを廃止。
- 平成27年4月「地域公共交通網形成計画」を策定。
- 平成27年4月より、蟹江線の増便、名港線のダイヤ変更等を行う。

○計画や事業等に関する取組み内容

年月 (4-3月年度表記)	取組内容
平成20年度	○ 飛島村地域公共交通総合連携計画の策定
平成21年度(4/1～)	○ 飛島公共交通バス・コミバスの運行開始(実証実験)
平成21年度(10/1～)	○ 海南病院通院支援タクシーの運行開始
平成22年度(10/1～)	○ コミバスの運行ルートの見直し(近鉄蟹江駅接続)
平成22年度(10/1～)	○ 飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)の一部ダイヤ見直し
平成22年度(10/1～)	○ 海南病院通院支援タクシーの区域運行化
平成23年度	○ 実証実験(3カ年)をふまえた事業・協議会運営の見直し
平成23年度	○ 地域公共交通確保維持改善事業への転換準備(生活交通NW計画案の策定等)
平成24年度	○ 各種PR・広報事業(4月老人クラブにて事業紹介、11月イベントにて広報等)
平成25～26年度	○ 地域公共交通総合連携計画の見直し検討(コミュニティバスの見直し検討)
平成27年3月	○ 飛島コミュニティバスの廃止
平成27年4月	○ 飛島村地域公共交通網形成計画の策定(蟹江線の増便等対応)

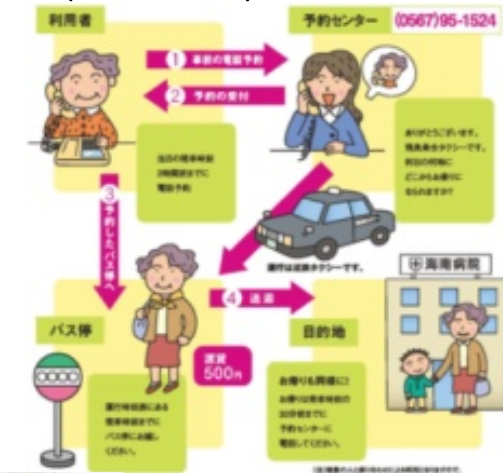
●コミュニティバスの車両(廃止)



●飛島バス 名港線・蟹江線の車両



●海南病院通院支援タクシー事業 (H21/10開始)



地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

○平成27年度(H26.10-H27.9)の主な取り組み

<コミュニティバスの廃止協議>

- 平成26年9月26日「平成26年度 第2回 法定協議会」にて、コミュニティバスの廃止協議。(承認)
- 平成27年1月22日「平成26年度 第3回 法定協議会」にて、地域公共交通網形成計画(案)について協議。3月24日第4回法定協議会にて承認。

<とびしまバス便りによる廃止周知 (H26年11月号)>



<交通網形成計画で定めた新たなネットワーク>



<見直し事項>

- コミュニティバス廃止
- 蟹江線の増強
 - ・昼間の7便の増便
 - ・夜便の増便
 - ・駐輪場の整備
- 名港線の対応
 - ・ダイヤの見直し

○住民ニーズの把握やPR活動等に関する取り組み(継続取り組み分も含む)

年月(4-3月年度表記)	取組内容
○平成24年度～ ○平成24年10月～ ○平成24年、25年、26年の11月 ○平成25年度(H25.4-H26.9) ○平成25年度(H25.4-H26.9) ○平成26年度(H26.4-H27.3)	○高齢者等に対し、老人クラブ等における各種PR・広報事業 ○地域公共交通確保維持改善事業の開始(幹線・フィーダー系統) ・H24年度:H24.4～9 ・H25年度:H24.10～H25.9 ・H26年度:H25.10～H26.9 ○イベントを活用したPR・広報活動の実施(パネルによる広報、バス便り配付、要望調査) ○バス検討委員会を設置、連携計画の見直しを開始 ○住民向けアンケート調査(H25.9)、利用者向けアンケート調査(H26.2)に実施 ○H26.5 コミュニティバスの利用促進のための「バス便り」を広報を用いて全戸配布 ○法定協でのコミュニティバスの廃止協議をふまえ、「バス便り」により周知実施。

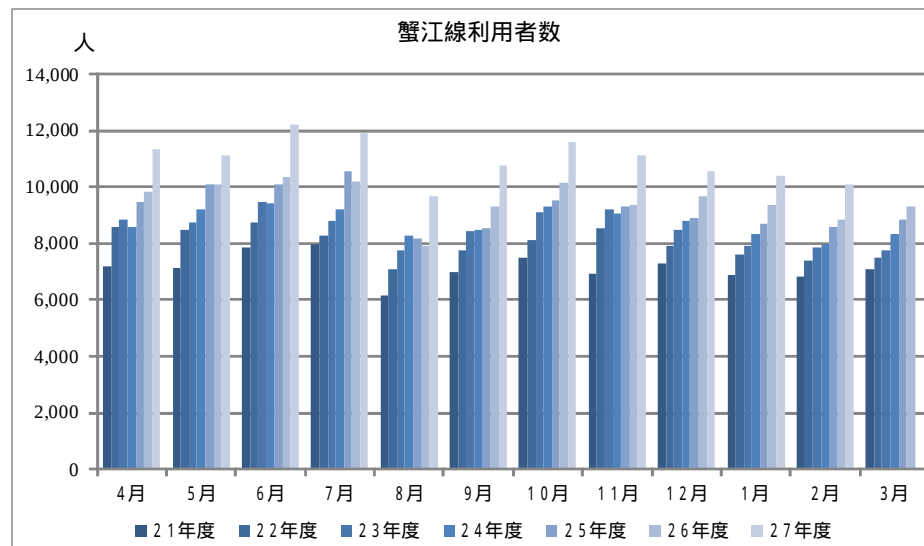
地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価(Check)

○ 利用実態による評価(蟹江線・コミバス)

- コミュニティバスの平成26年度(4-3月)の利用実績は1,524人。対前年比で79人の減少(▲4.9%)。
- 一部バス停を共有する蟹江線は、平成26年度の利用実績は対前年比で+3.3%の増加。
- コミュニティバス廃止後の平成27年4月以降の蟹江線の利用実績は、対前年同期間比で+14.9%の増加。
- コミュニティバスの利用者数以上に、利用者が増加している。

蟹江線利用者数

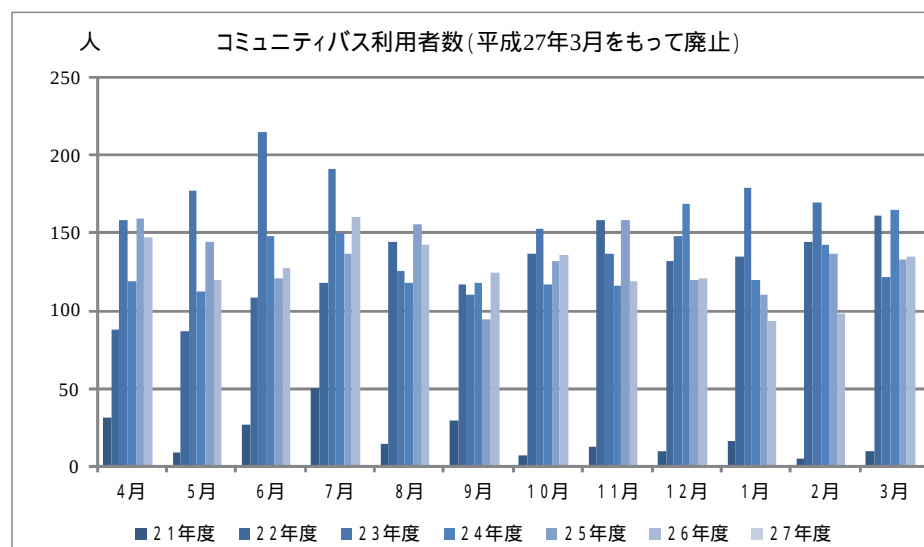
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846	11,324
5月	7,152	8,503	8,758	9,182	10,092	10,106	11,143
6月	7,863	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363	12,231
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194	11,892
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910	9,664
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295	10,741
10月	7,520	8,125	9,082	9,287	9,538	10,154	11,576
11月	6,921	8,513	9,190	9,073	9,302	9,337	11,128
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	9,653	10,559
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	9,340	10,393
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	8,865	10,072
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	9,324	
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	114,387	120,723
増加率		11.8%	6.6%	2.5%	5.5%	3.3%	14.9%



補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(26.10～)	H28(27.10～)
10-9計	91,508	99,049	103,501	108,633	111,525	123,668	53,728
増加率		8.2%	4.5%	5.0%	2.7%	10.9%	

コミュニティバス利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4月	32	88	158	119	159	147	-
5月	9	87	177	112	144	120	-
6月	27	109	215	148	121	127	-
7月	50	118	191	150	137	160	-
8月	15	144	126	118	156	142	-
9月	30	117	111	118	95	125	-
10月	7	137	153	117	132	136	-
11月	13	158	137	116	158	119	-
12月	10	132	148	169	120	121	-
1月	17	135	179	120	111	94	-
2月	5	144	170	142	137	98	-
3月	10	161	122	165	133	135	-
合計	225	1,530	1,887	1,594	1,603	1,524	-
増加率		580.0%	23.3%	-15.5%	0.6%	-4.9%	



補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(半期)
10-9計	725	1,845	1,674	1,641	1,612	703
増加率		154.5%	-9.3%	-2.0%	-1.8%	-11.1%

791

地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価 (Check)

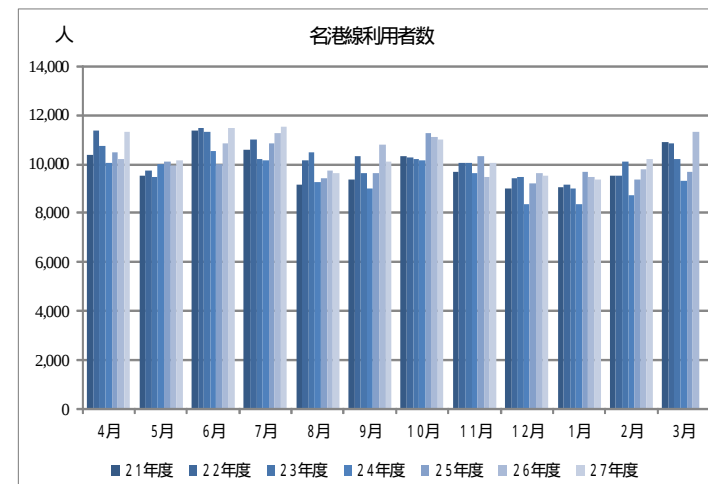
○ 利用実態による評価 (名港線)

- 名港線のH27の利用者数は、H26対比で増加。
- H25年から増加基調にある。

名港線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196	11,309
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,099	9,946	10,188
6月	11,406	11,473	11,311	10,515	10,032	10,870	11,501
7月	10,577	11,005	10,220	10,155	10,839	11,255	11,555
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752	9,663
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815	10,116
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,105	10,991
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	9,468	10,036
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	9,656	9,552
1月	9,066	9,177	8,986	8,349	9,670	9,499	9,383
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	9,775	10,193
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	11,325	
合計	118,896	123,437	120,972	113,669	120,066	123,662	114,487
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%	1.9%

補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(26.10～)	H28(27.10～)
10-9計	122,606	121,194	118,124	115,147	122,388	125,160	50,155
増加率		-1.2%	-2.5%	-2.5%	6.3%	2.3%	



○ 利用実態による評価 (海南病院通院支援タクシー)

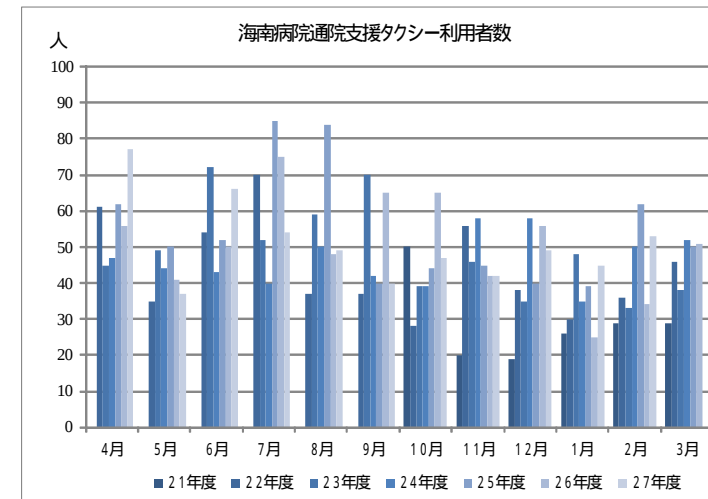
- 海南病院通院支援タクシーのH27.4月～28年2月の利用は559人で、H26対比で+2人(557人・0.4%)の増加。
- 年間600人前後で推移。利用者は定着している。

海南病院通院支援タクシー利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4月		61	45	47	62	56	77
5月		35	49	44	50	41	37
6月		54	72	43	52	50	66
7月		70	52	40	85	75	54
8月		37	59	50	84	48	49
9月		37	70	42	40	65	40
10月	50	28	39	39	44	65	47
11月	20	56	46	58	45	42	42
12月	19	38	35	58	40	56	49
1月	26	30	48	35	39	25	45
2月	29	36	33	50	62	34	53
3月	29	46	38	52	50	51	
合計	173	528	586	558	653	608	559
増加率		205.2%	11.0%	-4.8%	17.0%	-6.9%	0.4%

タクシー乗合率	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
運行回数	147	458	468	472	551	529	489
乗車率(人/回)	1.177	1.153	1.252	1.182	1.185	1.149	1.143

補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(26.10～)	H28(27.10～)
10-9計	467	581	505	665	615	596	236
増加率		24.4%	-13.1%	31.7%	-7.5%	-3.1%	



自己評価から得られた課題とその対応 (Action)

< コミバスの対応 >

- ・法定協議会における約1.5年の審議の結果、コミバスは平成27年3月をもって廃止した。
- ・代替措置として「蟹江線の増便」、「駐輪場の整備」、「混乱を招かないよう情報発信」を行った。



< 運行事業者(三重交通)に対するヒアリング調査の実施(H27/11/18) >

- コミュニティバスの廃止の影響
 - ・コミュニティバスの廃止に対する利用者からの苦情は特になし。定期利用者の高校生も大学進学で移動転換(蟹江線の利用もない)。
 - ・逆に、大幅な利用者増、新たな利用拡大があり、事業転換は良かった。
 - ・夜の便の増便も、実際の利用者から便利になったとの発言あり。
- 蟹江線の利用状況
 - ・朝便の利用が多いが、積み残しまでは発生していない。分館3便の途中停車を検討すべき。
- 名港線の利用状況
 - ・春季の通勤時の利用は一部で満車あり。2・3便の利用で対応。利用者の苦情はでていない。



< 蟹江線の課題・対応 >

- 課題
 - ・コミバス廃止で大幅な利用者増。
 - ・朝の利用の分散化について検討の必要性あり。
 - 対応
 - ・利用者増に伴う、朝の積み残しの発生がないか、モニタリングを継続。
 - ・分館3便の途中停車の実施について来年度検討を行う。
- 蟹江線利用者アンケート調査(H28.2実施)により、蟹江線の増便によるサービス向上については、約半数で便利になったと評価された。
一方、定時性に対する満足度の低下等に対する課題対応は、来年度、検討委員会等にて、バスロケーションシステムの導入など協議を行う。

< 名港線の課題・対応 >

- 課題
 - ・春季の通勤時に一部満車あり。利用者数は微増。
 - ・企業連絡協議会から、バス停環境の向上の要請あり。
- 対応
 - ・朝の利用状況について、モニタリングを継続。
 - ・バス停環境の向上方策について来年度検討を行う。

< 海南病院通院支援タクシーの課題・対応 >

- 課題
 - ・利用者数は横ばい。
 - ・利用者等からの苦情はなし。
 - ・要望として、病院発の最終便15:00発の後続便の追加あり。
(午後の予約診療の利用者から)
- 対応
 - ・利用状況について、モニタリングを継続。
 - ・利用促進として、必要に応じて老人クラブ定例会等で利用方法を説明。
 - ・要望のあった、最終便のダイヤ追加について、来年度検討を行う。

アピールポイント(特に工夫した点)

広報活動の継続実施

- 広報活動の継続実施
 - ・ H21年のコミバスの事業開始時に「時刻表」を作成し全戸配布。
 - ・ H22/10事業見直し時にも改定版を作成し全戸配付。
 - ・ H24/11イベント時には、広報ブースを設置しパネル展示・バス便りを配付。
- 要望把握のためのアンケート調査も実施。
- ・ H25/11継続してイベント時に広報活動を実施（パネル展示・バス便り配布）。
- ・ H26/5コミバスの廃止も選択肢においた「バス便り」を全戸配布。
- ・ H27/3 新しい時刻表を配布。
- ・ H27/11 飛島ふるさとフェスタにおいて、広報ブースを設置。パネル展示・パンフレットによるバス事業の紹介。

○飛島ふるさとフェスタで用いた バス事業の報告パネル



○飛島ふるさとフェスタにおけるバス事業のPR風景

